

INFORMATION

1月10日(金)～1月11日(土)

A1 地域福祉の看板を掲げたフォーラムが始まります！少し立ちどまり、そもそも地域福祉とは何なのか、コーヒーでも飲みながら一緒に考えてみたいと思いました。それぞれの立場から、それぞれの役割から、語り合い、共生の在り方を共有し、明日からのフォーラムへ繋がります。盛りだくさんの楽しい3日間にしましょう！

B1 地域社会におけるメンタルヘルスの促進に取り組み、ワンストップ早期相談サービスの普及を目指す、東邦大学医学部「社会実装精神医学講座」を牽引する根本先生から、精神保健医療福祉の変遷に関連して、リハビリや脱施設化から、早期介入、早期相談・支援の活動に至った経験などを含めてお話しいたします。

B2 改定後の施行状況、改定検証の動き、今後の課題等につきお話しいたします。障害福祉のこれからの方向性、現場に期待することなど大切な話を聞きます。改定後いち早く検証を聞くことで次期改定に備えよう。

B3 労働人口減少、担い手不足等々、じわじわと波動が押し寄せる中、地域福祉の未来志向をどう描いていくのか、次世代を担う若きリーダーたちの理念を聞く。(写真は昨年5月日南町で開催の「中山間地・まちづくりフォーラム」)



B4 山積みの課題を丁寧に検証し理論的に分かりやすくまとめられた日常必須のお話を聞かせていただきます。日本の社会保障の現状と課題を聞き急を要する緊迫感あるお話は身に迫るものを感じるでしょう。これからの「実践」に生かしていただければと願います。

B5 1965年コンゴ民主共和国に生まれる。1993年青年海外協力隊カウンターパートナーとして福島文化学園にて洋裁の研修を受ける。ルワンダ帰国直後に内戦勃発。子供3人連れてコンゴ民主共和国に逃れ難民キャンプで日本のアムダの日本人医師の通訳となる。その後、再度来日し「ルワンダの教育を考える会」設立。以来命の尊さ、教育の大切さを訴える活動を続けている。まさしく「愛は地球を救う」実働編です。



B6 昨年フォーラムご参加の皆様の要望に応え再登場していただきました。熱い気持ちのお二人による対談は時間内に納まらない盛り上がりで想定します。その場合は来年26回目に持ち越すこだわり対談と位置付けています。フォーラム事務局もインクルーシブ社会・教育が当たり前になるよう毎回テーマにこだわります。お楽しみに!!

B7 お二人のご退任は福祉界にとって大きな衝撃、打撃、損失です。旧法から新法へと福祉制度の大変革期・福祉界を二分させるほどの混乱と激動の中、先頭に立ち地域福祉の推進に大変ご尽力いただきました。福祉の歴史に刻まれる功労者へささやかですが敬意と感謝の気持ちをお届けしたいと企画いたしました。そして長年このフォーラムを支えていただいております豪華ゲストの方々にお言葉を頂戴いたします。フロアの皆様と、とっとりフォーラム実行委員と一緒に心をつなぐ感謝のファイナルステージといたします。

1月12日(日)

C1 分科会①

【てんかん医療の最新】多くのてんかんのある人たちは発作への不安を抱え暮らしています。市民の皆さんにご理解いただき社会参加を進めたいと願っています。今回はてんかん全般についての内容とし理解者を増やしたいと企画いたしました。共生社会実現はみんなにとっても幸せな社会だと思います。理解を深めるためわかりやすくお話をいたします。是非聴講ください。

- 1、てんかんの原因と治療・予後について 前垣義弘
 - 2、てんかんの症状 発作の種類・介助・療育等について 植田俊幸
 - 3、生活 就労 精神的ケア 結婚 出産育児等について 吉岡伸一
- ※ゲストへの相談のご希望のある方は参加申込用紙に○印記入してください。

【若者が気軽に相談できる場所とは?】2019年7月、厚生労働科学研究 MEICIS プロジェクトの一環として、若者に向けたメンタルヘルスのワンストップ相談窓口 SODA (Support with One-stop care on Demand for Adolescents and young adults) は開設されました。病院ではなく、街中で気軽に相談できる窓口は、どのような理念で運営され、具体的にはどのような支援を受けることができるのか、実際に取り組まれている内野先生からお話しいただき、地域でメンタルヘルスを支えることについて深めていきたいと思います。

C2 分科会②

人権意識を高く持ち専門性のある人員配置で行うことが就労支援の現場に求められる。就労選択支援も始まる今後、ただただ工賃向上に励むだけで良いのか…。就労支援の様々な実践を聞き、やはり『人を大切に現場であること』を再確認したい。

C3 分科会③

地域福祉を軸に包括的支援体制の整備が進められ、また、障害福祉の分野では令和9年までに「地域生活拠点等」の整備が義務付けられた。どちらも地域共生社会を目指して進められる事業である。インクルーシブや共生というならば、包括的に共生しあって作り上げて行くことが大切なのでは?



あいサポート

とっとりフォーラム25

開催期間 令和7年1月10日(金)～12日(日)

会場 米子コンベンションセンター
多目的ホール・国際会議室



『地球を…世界を…変える主人公!』

“平和と自由への願い”で始まったパリ・パラリンピック!! “地響き”のような会場の歓声。パリ・パラは世界中の人たちへ命の大切さ、生きることの素晴らしさを投げかける感動的な大会となりました。そして、誰もが地球の、世界の主役となり得るはず…と信じながらも「はて? 今世界は?」…

『とっとりフォーラム25』は様々なメッセージを込め、世界中すべての人たちにとって、新しい年が平和と自由に満ち溢れることを祈りながら開催します。

「お正月はとっとりで!」今年も3日間開催でお待ちしています。

1月10日(金)

1月11日(土)

多目的ホールエリア (参加無料) 詳しくは別パンフをご覧ください

Table with 4 columns: 多目的ホール, ホワイエ, 多目的ホール, ホワイエ. Contains event details for Jan 10 and 11, including art exhibitions, forums, and workshops.

1月11日(土)

国際会議室エリア (参加費(資料代)要)

Table for International Conference Room Area on Jan 11. Columns include time slots (8:45 to 13:35) and event titles like 'Inclusive Community Building' and 'Human Resource Development'.

Table for Jan 10 afternoon events. Columns include time slots (14:25 to 18:30) and event titles like 'Rwanda Memorial Lecture' and 'Inclusive Community Building'.

1月12日(日)

分科会 (参加費(資料代)要)

Table for Special Sessions on Jan 12. Columns include room numbers (International Conference Room, Meeting Room 4, Meeting Room 5) and time slots (9:00 to 12:00) with session titles.

[後援] 鳥取県・鳥取労働局・米子市・境港市・鳥取市・倉吉市・鳥取県町村会・鳥取県教育委員会・米子市教育委員会...